

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	《理念の共有と実践》 入職時のオリエンテーションにて法人の理念を伝えていますが、あまり意識されているとは言えない。	法人の理念を基に、グループホームで目指すケアを職員全員で話し合い、共有していき、実践に結び付けていきます。	①ユニットミーティングで、管理者は職員に対して、法人の理念を伝え、共通の理解を促します。②その法人の理念を基に、グループホーム独自でありたい姿(ビジョン)を掲げ目標を設定します。③その目標は、6カ月毎に振り返りを行い、目標達成のための修正を実施していきます。	12ヶ月
2	3	《運営推進会議を活かした取り組み》 定期的な開催が行えていなかった。定期的に開催していき、サービスの向上に活かしていきたい。	運営推進会議には地域住民(民生委員、区長など)に参加を促し、その地域にある資源を活用したケアが展開できるよう取り組んでいきます。	①運営推進会議は、2カ月に1回開催します。また、年間の開催スケジュールを立て、地域住民(民生委員、区長)にも案内し、参加を促していきます。②地域にある資源(畑など)を把握し、種まきや収穫に参加していきます。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。